



死刑制度はだれのため、何のためにあるのですか？

死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会「そばの会」

★ロシアとベラルーシ

二〇二二年一月四日、中日新聞ネットニュースは次のように伝えました。

中央アジアの旧ソ連構成国カザフスタンの大統領府

は二日、死刑制度を廃止したと発表した。

ロシアメディアによると、カザフスタンは、死刑制度を疑問視する国際的な世論を背景に、二〇〇三年に死刑の執行を停止。トカエフ大統領は死刑制度を廃止する意向を示していた。これにより、旧ソ連圏で死刑制度が残るのは、「欧州最後の独裁国家」と称されるベラルーシだけとなった。ただ、二〇〇九年に憲法裁判所が死刑宣告を禁じたロシアではこの二〇年余り、野党指導者や反政権記者の暗殺が相次いでいる。

【モスクワ小柳悠志】

ロシアのウクライナ侵攻を援助したベラルーシのルカシェンコ大統領が独裁といわれるのは、憲法を変えてまで建国以来大統領の座を保持しているからです。同様にプーチン大統領も憲法を変え、長期政権を保っています。

★アメリカと日本

アメリカのブッシュ元大統領（息子）は六年間のテキサス知事時代に一五二人の死刑を執行しましたが、これはアメリカにおいて一人の州知事による死刑執行数としては最高記録です。アメリカではDNA鑑定などにより、再審無罪になる事件が過去に一〇〇件以上あり、無実の人を国家が殺してしまった可能性が考えられます。日本では安倍元首相が首相在任中に四九人の死刑を執行しました。

ブッシュ元大統領はありもしない疑惑を突き付けてイラクに侵攻しました。安倍元首相も戦争ができる国を目指していました。この二人の元指導者の政治姿勢と執行数の多さを顧みると、死刑制度と戦争には強い相関関係があり、国家が様々な理由をつけて人を殺す論理を押しつける姿が見えてくるようです。

★中国・北朝鮮・ベトナム

中国は死刑執行の人数を公表していませんが、

東京都荒川区南千住1-5-9-6-302

<http://sobanokai.my.coocan.jp/>

年間数千人とみられます。

北朝鮮、ベトナムも執行数は非公表ですが、多数の執行が行われていると思われれます。

アムネステイによると、二〇二一年の全世界での死刑執行件数は、この三国を除く一八カ国で五七九件でした。

残念ながら日本も一八カ国に含まれています。

★イギリス

イギリスではエヴァンス事件（一九四九年にイギリスのロンドンで起こった冤罪事件。妻と幼い娘を殺害したとして死刑が執行されたが、後にえん罪の可能性が高いとされ死後恩赦が認められた）がイギリスの死刑制度廃止の発端となりました。一九六五年、五年間の死刑の停止を定めた法律が成立。一九六九年、謀殺罪に対する死刑が全廃。一九九八年、反逆罪及び暴力を用いた海賊行為の死刑並びに軍法犯罪の死刑廃止。（イギリスにおける死刑全廃）

★カンボジア

カンボジアは一九八九年に死刑制度を憲法で廃止しました。これは、ポル・ポト派の政権時代、死刑制度を利用して反体制派や政権にとって邪魔な人物を容赦なく死刑に処し、大量虐殺を引き起こしたからです。

死刑はだれのため、何のため

死刑制度は被害者・遺族のためにあると思うのは幻想にすぎません。権力者、国家のために利用されるという面もあります。死刑制度が犯罪を抑止するというのも幻想で、最近ほむしろ死刑になりたいと言つて殺人を犯す現象が増えています。またカンボジアなどにみられたように、大量虐殺の手段に使われる事もあります。誰のため、何のための死刑制度なのか、冷静に共に考えましょう。（KAN）